

令和7年度 学校経営

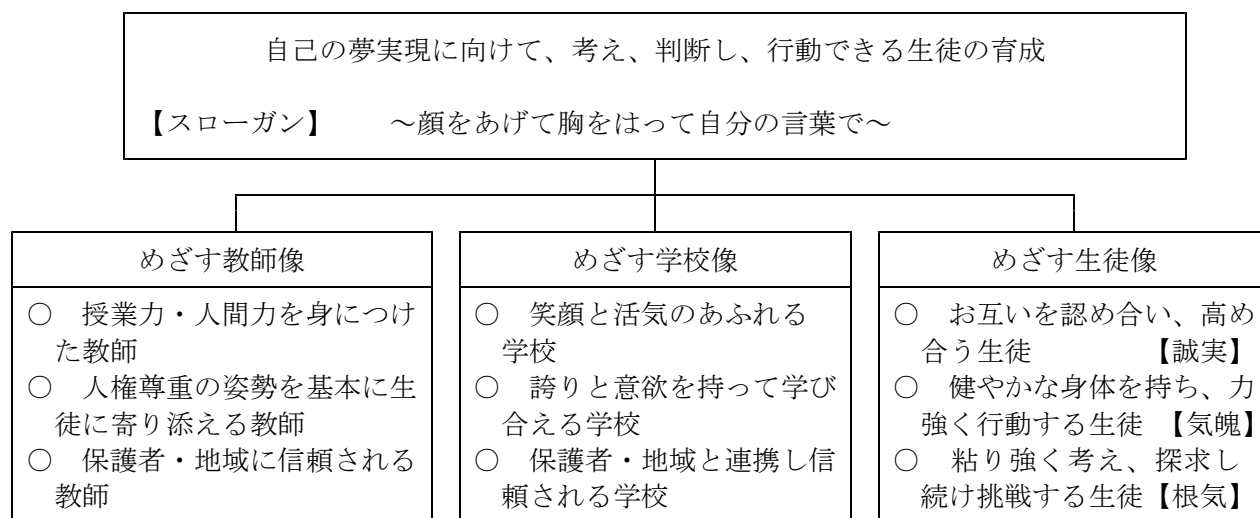
1 経営の基調

- (1) 日本国憲法・教育基本法・学校教育法等の関係法令を基に、鹿児島県及び志布志市の教育方針・教育振興基本計画を踏まえた教育を推進する。
- (2) 生徒の実態や心身の発達段階・特性、地域の実情を踏まえるとともに、創立以来築かれてきた文化と伝統を継承しつつ、豊かな郷土の教育的風土を生かした心豊かで生きる力を備えた生徒の育成を目指す。
- (3) 教師の力量を高めるとともに保護者や地域の教育力を活用しながら、小・中・高等学校・特別支援教育諸学校及び関係機関との連携を密にし、教育目標の具現化に努める。

2 経営の方針

- (1) 校訓「誠実・気魄・根気」のもと、「生きる力」を育み、社会に開かれた教育課程の編成と実現を目指し、責任を果たす学校づくりに努める。
- (2) 豊かな心を育み、活気があり、敬愛の心を培う笑顔あふれる校風づくりに努める。
- (3) 生命尊重及び人間尊重の精神と人権感覚を高める学校づくりに努める。
- (4) キャリア教育を基盤とし、生徒一人一人に夢・希望を持たせ、確かな学力と主体的に学び続ける態度を育む教育に努める。
- (5) 保護者や地域住民の意見を効果的に反映するとともに、地域との人材交流を活発に進め、開かれた学校づくりに努める。
- (6) 業務改善を推進し、職員一人一人が働きやすい環境を整えるとともに、不祥事、事故のない信頼される学校づくりに努める。

3 教育目標



4 教育実践に当たって

- (1) 松山中学校は、公教育の場として常に公正・公平を旨とし、生徒一人一人の生命と人権を尊重した教育を実践する。
- (2) 教育は、人格のふれあいの中で行われる精神的な営みであり、松山中学校の教師は共感的理解と深い教育愛による教育を実践する。
- (3) すべての活動は、学校教育目標の具現化を図ることが使命である。松山中学校の教師は、その使命感を常にもって教育活動を実践する。
- (4) 松山中学校の教師は、常に改善意識を持つとともに、生徒・保護者・地域の願いを受け止め、更によりよい教育活動を求め、自らによって創造する。